

# 総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
4 - 1 - 1	消費者ニーズに対応した農林産物を創出する	
重点施策ID	重点施策名	
4 - 1 - 1 - 1	農林畜産物のブランド化及び産地化の推進	

2. 事業名等			
事業名	活力ある水田農業振興対策事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名	「特色ある大分米」産地緊急拡大事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
事業主体	県、市	①	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務	④	④その他 ( )
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 23 年度	根拠法規	活力ある水田農業振興対策事業費補助金交付要綱、活力ある水田農業振興対策事業実施要領
各種の計画への反映 (=根拠計画)		農業振興計画	事業ID

3. 事業の内容等					
<b>事業の背景</b> 水田農業構造改革がスタートし、これまで以上に「売れる米・麦・大豆」に向けた産地間競争の激化が予想され、消費者・実需者ニーズ等需要に即した産地体制の確立が求められている。	<b>補助事業</b> 名称 活力ある水田農業振興対策事業（「特色ある大分米」産地緊急拡大事業〔「特色ある大分米」産地育成対策〕） 補助率 国 1/ 県 1/ 2 その他 1/	<b>起債の種類</b> ① ② ③			
		<b>事業の目的及び対象</b> 【目的】 減農薬栽培米等「特色ある米」を集落全体で生産し、産地拡大と販路の確保をテーマに活力ある水田農業の展開を図る。 【対象】 生産集団、認定農業者等		<b>事業概要</b> 減農薬栽培米等「特色ある米」の生産を進めるために、産地育成・産地拡大及び販路開拓を支援する。 ソフト事業：会議費、講習会費、先進調査費、消費者交流費等	
		<b>前年度の評価</b> E 維持		<b>評価結果に基づき見直した内容</b> 20年度と同様に事業を実施する。	

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金	262		207	200	150	150	150
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	計	262		207	200	150	150	150
決 算	国庫支出金							
	県支出金	262		207	150			
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	計	262		207	150			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 なし	【実績】 1 組織実施 (農) 阿志野郷	【実績】 1 組織実施 大分県農業協同組合ぶんど 大野地域本部	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値												
活動指標	①講習会開催数、②研修会開催数、③特別栽培米栽培暦の作成会											
効率指標	-											
成果指標	特別栽培米等作付面積										単位 h a	
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考					
種別				面積	面積	面積	面積					
目標値				487	500	600	600					
実績値				487	500							
達成率				100.0%	100.0%							
備考												

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	消費者の関心の高い「安心・安全」をキーワードとした減農薬栽培米等「特色ある米」産地育成を早急に図る必要があるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	県が行っている事業のため、要綱上、市も同様に事業を行う必要があるため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	補助金交付要綱、実施要綱、実施要領により実施しているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	減農薬栽培米等「特色ある米」産地育成、産地拡大、販路開拓に一定の効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	減農薬栽培米等「特色ある米」の生産を推進するために、必要に応じて会議等開催することとしているため、現行と同程度の予算が必要である。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	減農薬栽培米等「特色ある米」の生産を推進するため、引き続き事業を行っていく必要がある。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	